令和５年度活動報告（令和５年４月１日～令和６年３月31日）

Ⅰ　地域情報化の推進活動

国、長崎県をはじめ、市町村、各種団体等と地元企業が協力・提携しながら、課題解決に向けた取組みや施策への提案を行い、県・市事業へ参画し成果が出ている。

また、国内外の情報サービスに関わる情報やデータを収集し、会員企業及び地域情報サービス産業の発展に役立つよう活動した。

Ⅰ・1　長崎県次世代情報産業クラスター協議会（敬称略）への参加（会員登録済み）

会長 中野一英（㈱NDKCOM 代表取締役会長）、副会長 大神 吉史(大新技研㈱代表取締役) が 就 任 。

ロボットやIoTに代表される第四次産業革命の技術については、社会への急速な普及が進んでいるが、県ではこの流れを的確に捉え、高度専門人材の育成や県内企業間の連携促進を目的とした「長崎県次世代情報産業クラスター協議会」が設立された（2018 年(H30)-5-9）

(1)目的

県内のロボット、IoT、組込み関連産業の高度人材の育成や、これらの先端技術を提供する企業と活用する県内企業とのマッチング等によって、技術の活用を促進するとともに、事業拡大や新たなサービスの創出等につなげ、県外 需要の獲得や生産性の向上、付加価値の向上等を図ることを目的とする。

(2)事業

協議会では、前項の目的を達成するため、長崎県が実施する次の事業に参画する。

・ロボット・IoT等の分野における高度専門人材の育成
・普及啓発セミナー、導入企業向け基礎講習会等の開催
・製品・サービス等の開発による事業化のためのマッチングと伴走型支援の実施
・開発実証に係る外部資金等の獲得支援及び補助金による支援

(3)会員

NISA 会員および、長崎県内製造業企業などが会員登録。オブザーバー登録 12 機関。会員登録数 209 社（2024-5-23 時点）、内、NISA 会員は 47 社が登録。

(4)主な活動項目（詳細は NISA-HP 「お知らせ欄」に掲載）

・県クラスター協議会からの情報をNISAホームページに掲載し、会員にメールでお知らせした。
・NISA会員の登録（無料）を促進中。

Ⅰ・2　長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定（長崎県警察本部） 活動への参加（会員登録済み）

サイバー犯罪、サイバーテロの増加、インターネット上の違法・有害情報の氾濫、コンピュータウィルスの蔓延が社会問題となり、サイバー空間に対する県民の不安感も急速に高まっている中で、本協定は、社会全体で効果的なサイバーセキュリティ対策を推進することにより安全安心なサイバー空間の実現を目指すものである。

(1)目的

この協定は、協定機関の相互理解による高い信頼と協力関係に基づき安全安心なサイバー空間の実現を目指すことを目的とする。

(2)連携 、協力の内容

協定機関は、前条の目的を達成するため、相互に連携、協力し、次の各号に掲げる事項を推進する。

①サイバー空間の脅威に関する情報の共有
②サイバー空間の脅威への対処に係る技術的支援
③サイバー空間の脅威に対処できる人材の育成
④サイバー空間の脅威に立ち向かう社会全体の意識の向上
⑤県警本部発行「サイバーセキュリティ通信」の HP 掲載と周知
⑥その他協定機関が必要と認めるサ イバーセキュリティに関する事項

(3)協定参加機関（14 機関）

長崎県、長崎県警察、長崎県商工会議所連合会、長崎県商工会連合会、長崎県中小企業団体中央会、

（公財）長崎県産業振興財団、西日本電信電話㈱、長崎支店、㈱ラック、トレンドマイクロ㈱、長崎大学、
長崎県立大学、長崎総合科学大学、佐世保工業高等専門学校、（一社）長崎県情報産業協会
長崎県医師会（2023/11/7 加入）、独立行政法人情報処理推進機構（2023/11/7 加入）

(4)活動

県警本部発行「サイバーセキュリティ通信」をＮＩＳＡ－ＨＰ に掲載するとともにメールによる周知化を図った。

Ⅰ･3 長崎県サイバーセキュリティ研究会 (H29 年 1 月 7 日設立)への参加 (会員登録済み)

(1)目的

長崎県内における情報関連産業の人材育成や会員相互の情報共有を目的とする。

(2)事業の内容

前記の目的を達成するため、次の事業を行う。

①情報共有のための研究会の開催
② 情報セキュリティに関するセミナー・イベントの開催
③ 県内でのセキュリテイコンテスト等の開催
④ 県外でのセキュリテイコンテスト等へ出場する学生等の支援
⑤ その他、本会の目的の達成に必要な事業

(3)「長崎県サイバーセキュリティ研究会」参加機関

[会員] 扇精光ソリューションズ㈱、オフィスメーション㈱、㈱亀山電機、佐世保工業高等専門学校、（一社）長崎県情報産業協会、長崎県立大学、長崎総合科学大学、、長崎大学、ネット・ウォーリアーズ、㈱ユースフル

[顧問] 元衆議議員 富岡 務

[オブザーバー] 長崎県情報政策課、長崎県学事振興課、長崎県新産業創造課

(4) 活動 (NISA参加)

開催日	場所	件名	議題
令和 6 年 3 月 5 日(火)	長崎県立大学 本部棟２F 特別会議室	令和 5 年度第一回長崎県サイバーセキュリティ研究会総会	① 令和 4年度事業報告書および収支決算について ②令和 5 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について ③ 会長の交代について

Ⅰ･4 NISA 情報セキュリティ部会

NISA 主催、県共催で中小企業のためのサイバーセキュリティセミナーを開催した。

開催日	場所	件名	議題･講師
令和 5 年 7月 24 日（月）	ホテルセントヒル長崎 2 階「妙見の間」 &オンライン	①「DX 推進による企業の成長に向けて必要なサイバーセキュリティとは」 ②「長崎県のサイバー犯罪の情勢について」	①IPAセキュリティセンター セキュリティー普及啓発振興部 シニアエキスパート 横山 尚人氏 ②長崎県警察本部サイバー犯罪対策課 課長補佐 岩下 大吾氏

Ⅰ･5 IPA 第 19 回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」会長賞選定・授与

インターネットの安全利用への注意はさらに重要になっていると考えられることから、子どもたちがコンクール作品の制作を通して、インターネットの安全利用を意識できるよう、2023 年度 19 回目のコンクールが独立行政法人情報処理推進機構(IPA)主催で実施された。昨年同様に後援し、優秀賞(NISA 会長賞)を選定し表彰状を贈呈した。

【優秀賞 一般社団法人長崎県情報産業協会（NISA 会長賞）】

・標語部門 「安全に身を守るためパスワード」 林 利空さん （西海市立平島中学校3年）
・ポスター部門 「狙われている」 江頭 莉乃さん （長崎県立諫早商業高等学校 3 年）
・4 コマ漫画部門「STOP！歩きスマホ」 長野 瑠生さん （長崎県対馬市立東部中学校 3 年）

Ⅰ･6 令和 4 年度中小企業サイバーセキュリティ促進事業（地域 SECUNITY 形成促進事業）

各地域で形成を進めてきた地域 SECUNITY の取組をさらに推進するため、地域間の情報共有や、共通課題の解決に向けた取組の検討・推進を行う為、SC3 地域 SECUNITY 形成促進WS（ワークショップ）へ参加した。

本事業は、当協会が 2020(令和 2)年に、経済産業省の事業を、みずほ総研より再委託を受け、長崎県地域における「地域 SECYUNITY 形成促進事業」を受託し、セミナー開催、アンケート調査を実施した。

当協会の活動は、事業推進団体として経済産業省「地域SECUNITYマップ」に掲載されており、継続活動中。

・第 1 回 WS　2023 年 6 月 29 日(木)

・第 2 回 WS　2024 年 2 月 20 日(火) 参加。(Microsoft Teams によるオンライン方式)

キーパーソン：NISA松尾隆宏理事(扇精光ｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ㈱)、NISA 事務局

Ⅰ･7 長崎県中小企業団体中央会関連

令和5年度中小企業景況調査報告（第 1 四半期～第 4 四半期)を代表会員 4 社により実施した。

第 1 四半期(R05 年 04～06 月期)	第 2 四半期(R05 年 07～09 月期)
第 3 四半期(R05 年 10～12 月期)	第 4 四半期(R06 年 01～03 月期)

Ⅱ 交 流 事 業

Ⅱ･1 他団体・大学等との交流事業（敬称略）

(1)第 44 回 全情連大会「ANIA 福岡大会」

一般社団法人全国地域情報産業団体連合会（略称：ANIA）では、地域情報産業の発展や取引拡大に向けた情報交流等を行うことを目的に、毎年各地域の情報産業団体と共催で全国大会を開催している。

2023 年度は福岡大会がリアルで開催された。

・(2017 年)平成 29 年度　第 39 回　長崎大会(ホテルニュー長崎)

・(2018 年)平成 30 年度　第 40 回　青森大会(ホテル青森)

・(2019 年)令和 元年度　第 41 回　北海道(札幌)大会（札幌グランドホテル）

・(2020 年)令和　2年度　第 42 回　山梨大会(コロナウイルス対策の為、開催延期) → 開催中止

・(2021 年)令和　3 年度　第 42 回　京都大会(オンライン講演会、コロナ対策でWEB開催)

・(2022 年)令和　4 年度　第 43 回　京都大会、リアルで開催（NISAより 5 名参加）

・(2023 年)令和　5 年度　第 44 回　福岡大会(NISAより 7 名参加)

(2) ANIA 新春講演会の産学官交流会(懇親会)・・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。

(3) ANIA 理事会

No.	日　時	場　所	出　席	議　題　・その他
第 1 回	R5-4-20(木) 16:00～17:30	京都情報大学院（ｵﾝﾗｲﾝ会議 ZOOM)	理事総数 8 名 監事総数 1 名 濵本会長（ANIA 理事）事務局長（ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ）	・2022 年度事業報告書案及び収支報告書案について ・第 44 回全情連大会 ANIA 福岡大会 ・事務局会議の地方開催について ・2023 年度定時総会について
第 2回（総会、講演会）	R5-7-6(木) 15:00～15:50	同上	理事総数 9 名 監事総数 2 名 濵本会長（ANIA 理事）事務局長（ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ）	＜総会＞ ・2022 年度事業報告及び収支報告 ・2023 年度事業計画及び収支予算 ・理事の選任 ＜理事会＞ ・副会長互選について
第 3 回	R5-10-19（木） 11:30～12:30	ホテルオークラ福岡オークルーム	理事 8 名 監事 2 名 濵本会長（ANIA 理事） 事務局長（ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ）	・次年度の全国大会の実施について ・新春交歓会について ・第 4 回理事会の開催について ・ｳｪﾌﾞｻｲﾄのﾘﾆｭｰｱﾙ並びにﾘｰﾌﾚｯﾄ作成について ・政策要望について ・後援名義申請について

第 4 回	R6-2-8(木) 16:00～17:30	八重洲倶楽部 第 7 会議室	理事 9 名、監事 1 名 濵本会長 事務局長(ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ)	・2024 年度事業計画及び予算案について ・2024 年度定時総会及び講演会について ・2024 年度第 1 回理事会について ・協力名義申請について

(4)ANIA 事務局長連絡会議（敬称略） 事務局長 出席

No.	日 時	場 所	出 席	議 題
第 1 回	R05-5-24(水) 10:30～12:00	京都情報大学院(ｵﾝﾗｲﾝ会議 ZOOM)	ANIA 各事務局長 16 名+ANIA 事務局 2 名 (出席:NISA 事務局長)	・第 44 回全情連大会・福岡大会について ・新規企業会員の入会について ・DX 企業見学会と事務局会議の開催について ・2023 年度　定時総会について ・連合会表彰について ・地域 DX 推進ラボ ・IT連懇親会について
第 2 回	R05-7-11(金) 10:30～12:00	テクノサポート岡山	ANIA 各事務局長 10 名+ANIA 事務局 2 名 (出席:NISA 事務局長)	・ANIA の事務局会議の運営方法 ・会員増加策について ・第 44 回全情連大会・ANIA 福岡大会について ・若手交流会の実施について
第 3 回	R05-10-19(金) 10:00～11:00	ホテルオークラ福岡オークルーム	ANIA 各事務局長 12 名+ANIA 事務局 2 名 (出席:NISA 事務局長)	・政策要望の作成について ・ウェブサイトのリニューアルに関して ・リーフレットの作成について ・若手交流会の実施について
第 4 回	R06-2-8(木) 10:00～11:00	八重洲倶楽部 (ｵﾝﾗｲﾝ会議 ZOOM)	ANIA 各事務局長 8 名+ANIA 事務局 2 名 (出席:NISA 事務局長)	・政策要望の作成について ・ウェブサイトのリニューアルに関して ・2024 年度定時総会と第1回理事会の実施について ・事務局会議の実施について ・若手交流会の実施について

Ⅱ・2 長崎県工業技術センターとの意見交換会(研究キャラバン)

県工業技術センターの研究成果の説明、また技術交流の強化の為、意見交換会を開催した。

(1)日時:R5-12-21(木)　16:00～17:00

(2)場所:出島交流会館 9階　展示交流室(長崎市出島町 2-11)

(3)次第(敬称略):［ 会場出席＋WEB 出席 ］

①挨拶:　NISA 会長　濵本　浩邦、工業技術センター 所長　野中　一洋

②工業技術センターの概要説明:工業技術センター所長　野中　一洋

③導入設備や研究事例の紹介　:工業技術センター基盤技術部長兼機械システム科長　田口　喜祥

・新規導入設備の紹介

・電子情報関係の研究事例紹介

④意見交換会(敬称略):(NISA 役員、会員との意見交換)

・工業技術センター(野中　一洋所長、兵頭　竜二次長、基盤技術部部長 兼 電子情報科長 田口　喜祥、研究企画課課長　市瀬　英明、主任研究員　小楠　進一, 瀧内　直祐　)

・長崎大学(産学官連携推進室室長)　竹下　哲史准教授

・県産業振興財団 (研究開発支援室)　上野　忍

Ⅱ・3 通常総会・講演会・産学官交流会

(1)第 30 回通常総会 R05-6-29(木) オンライン併用による開催とし、全会員へ議案書を配布した。

(1)-1. 通常総会　14:00～14:50

①出席会員数:正会員出席　83社中、81社(会場27社、WEB9社、委任状45社)が出席
(出席率97.6%)、出席者半数以上で総会が成立した。全議案が承認された。

②議案

1)第1号議案　議事録署名人の選任の件

2)第2号議案　令和4年度活動報告の件

3)第3号議案　令和4年度決算書・監査報告承認の件

③報告事項

1)第1号報告　事業計画及び収支予算の件

(1)-2. わが社の一押し発表(2社)

詳細は下記、「Ⅱ-4. わが社の一押し発表」を参照。

(1)-3.「企業年金活用のご紹介」:全国情報サービス産業企業年金基金

(1)-4. 特別講演

1)演題:『DX推進とクラウドの活用による成功の鍵』

2)講師:クラスメソッド株式会社　シニアスペシャリスト　朝日　清氏

(1)-5. 産学官交流会　18:00～20:00

1)参加者:87名(会員52名、会員外35名)

(2)30周年記念特別講演会　R6-1-23(火)　15:10～17:30　Hセントヒル長崎　3F「紫陽花」

(2)-1. 特別講演(2社)

1)特別講演1:五島列島から世界に誇るクラフトジンを　!

講師　:五島つばき蒸溜所　代表取締役　門田 邦彦様

2)特別講演2:生体認証技術の進化と今後の挑戦～「顔」でつながる新たな社会像　～

講師　:日本電気㈱　フェロー　今岡 仁様

(2)-2. 産学官交流会　18:00～20:00

1)参加者:96名(会員67名、会員外29名)

Ⅱ・4　我が社の一押し発表

会員の優れた製品・システム・技術・管理手法など、特徴あるものを紹介して、会員間のコラボレーションを深めることを目的とする。交流委員会で担当し、下記の通り、1回開催した。

通常総会時 R05-6-29(木)	①	会　員	㈱みんなｼｽﾃﾑｽﾞ
		テーマ	超実践型プログラミングスクール　ユアスク
		発表者	代表取締役　　野田 祐機様
	②	会　員	LAplust
		テーマ	スーパー農家トミさん/AGRI-GPT
		発表者	取締役　　原崎　芳加様

Ⅱ・5　ビジネスコラボ事業

会員相互間の懇親を図り、ビジネスのコラボレーションが進むことを目的として下記の通り開催した。

(1) R05-4-27(木)	18:00～20:00	ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾗﾎﾞ会	≪梅屋(うめや)≫	参加者:15名
(2) R05-6-29(木)	18:00～20:00	産学官交流会	≪ホテルセントヒル長崎　妙見の間	参加者:89名
(3) R05-7-20(木)	18:00～20:00	ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾗﾎﾞ会	≪いけ洲博多屋≫	参加者:15名
(4) R5-10-26(木)	18:00～20:00	ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾗﾎﾞ会	≪和食居酒屋　旬彩 ながや≫	参加者:12名
(5) R5-12-21(木)	18:00～20:00	ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾗﾎﾞ会	≪食事処「かまど茶屋」≫	参加者:22名
(6) R6-1-23(火)	18:00～20:00	産学官交流会	≪ホテルセントヒル長崎　妙見の間	参加者:99名

Ⅲ　研修事業

Ⅲ・1 研修事業(長崎県後援)

㈱長崎ソフトウェアセンターの解散により、地元で就業者研修ができなくなり、長崎県のご支援により、平成20年度(2008年度)に開始した当協会主催による研修事業は、協会会員様のご賛同を得て人材育成の一端

を担うことができた。
令和 5 年度は、コロナ禍の影響が残る中、25 講座中、申込みが 4 名以下であった 7 講座を中止し、18講座を開催した。年間受講者数は合計 118 名であり、1講座当たりの平均は 6.6 名であった。
尚、中止した 7 講座の受講申し込み者が 15 名いたが、是非、次年度の受講をお願いしたい。
本事業は、研修技術委員会各位のご尽力と会員の皆様のご理解、ご協力によって運営することができた。

2023（令和 5）年度 NISA-IT 技術研修 （受講実績）

No.	実施月	開催日	研修科目名・講座名	会場	社数	人数	備考
01a	6 月	6/21～6/23	IT プロジェクトのテスト設計	D	3	5	開催
02j	7 月	7/5～7/7	データベースの基礎と性能分析、対処方法	D	6	7	開催
03j	7 月	7/12～7/14	品質確保のためのレビューテスト技術	N	(3)	(3)	（中止）
04s	7 月	7/26～7/28	デジタル（DX）時代の事例から学ぶビジネス価値提案	N	(1)	(1)	（中止）
05s	8 月	8/2～8/4	IT 技術者のためのシステム・シンキング	D	3	6	開催
06s	8 月	8/23～8/25	ルータを中心に学ぶネットワーク基礎とセキュリティ	D	4	6	開催
07j	8 月	8/30～9/1	C#による Visual Studio を使用した Web アプリの開発	D	5	10	開催
08s	9 月	9/6～9/8	Python & Excel で業務活用研修	D	4	8	開催
09a	9 月	9/20～9/22	データベース設計とデータモデリング	D	5	6	開催
10s	9 月	9/27～9/29	ファイアウォールで学ぶネットワークセキュリティ	D	(2)	(2)	（中止）
11s	10 月	10/11～ 10/13	IT 技術者のためのリーダーシップ ～「部下育成」、「動機づけ」～	D	5	5	開催
12a	10 月	10/18～ 10/20	ソフトウェア開発者のための対人対応力強化講座	D	6	6	開催
13a	10 月	10/25～ 10/27	ケースに学ぶ IT プロジェクトにおける品質マネジメント	D	4	6	開催
14s	11 月	11/8～11/10	IT 技術者のためのコミュニケーション研修	D	(3)	(3)	（中止）
15s	11 月	11/15～ 11/17	Python プログラミング応用	D	4	6	開催
16s	11 月	11/29～12/1	信頼される SE に求められる問題解決力	D	(3	(3)	（中止）
17j	12 月	12/7～12/8	アプリケーションテスト 実践トレーニング	D	4	6	開催
18a	12 月	12/13～ 12/15	ソフトウェア開発のためのモデリングと UI 設計	D	7	9	開催
19j	12 月	12/20～ 12/22	IoT 時代の無線 LAN ～構築からトラブル防止とトラブルシューティング～	I	4	8	開催
20a	1 月	1/17～1/19	プロジェクトチームの現場力向上	D	5	7	開催
21s	1 月	1/31～2/2	IT 技術者のためのドキュメンテーション研修	D	5	8	開催
22s	2 月	2/7～2/9	失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力	D	2	5	開催
23a	2 月	2/14～2/16	エンジニアのスキルを徹底活用するための書き方・話し方	D	1	(2)	（中止）
24s	2 月	2/28～3/1	失敗しないプロジェクトのための段取り力	D	3	4	開催
25s	3 月	3/13～3/15	ヒトを動かす提案書・企画書作成のための図解手法	D	1	(1)	（中止）
会場： N（NISA）、D（出島）、I（石井会計事務所）				合計(中止分を除く)		118	

Ⅲ・2　新入社員向け IT 技術者研修を実施(「研修事業」)(敬称略)

㈱エンベックスエデュケーションとタイアップし、厚労省「人材開発支援助成金(特定認定実習併用職業訓練コース)」を適用して 2023(R05)年度の新入社員研修(38 名)を長崎と佐世保及び諫早で実施した。
助成金制度の活用により、本研修の費用負担を軽減でき、IT 技術、ヒューマンスキル、社会人マナーの習得により人材育成を図った。

項目	内　容
講　座	C#.NET エンジニア養成コース
期　間	長崎会場　:2023/4/6(木)～6/1(木)(38 日間) 佐世保会場:2023/4/5(水)～5/31(水)(38 日間) 諫早会場　:2023/5/15(月)～7/ 5 (水) (38 日間)
会　場	長崎会場　:ボナールビル(4 階　404-1 号室) 佐世保会場:交通会館(2 階会議室) 諫早会場　:ｼｽﾃｯｸ井上諫早事業所
講　師	長崎会場　:人材育成本部　森屋　将光氏 佐世保会場:人材育成本部　太田　陽太郎氏 諫早会場　:人材育成本部　片岡　美智代
受講者	長崎会場　:4社　7 名 佐世保会場:2 社 16 名 諫早会場　:1 社 15 名　　合計 7 社 38 名

Ⅲ・3　i CD(アイ コンピテンシ ディクショナリ)活動:(中小企業向け IT スキル標準、一般社団法人 iCD 協会)

「i コンピテンシ ディクショナリ」(以下、iCD)は、企業において IT を利活用するビジネスに求められる業務(タスク)と、それを支える IT 人材の能力や素養(スキル)を「タスクディクショナリ」、「スキルディクショナリ」として体系化したもので、企業は経営戦略などの目的に応じた人材育成に利用することができる。本システムの活用を通じて、人材育成戦略の立案(Plan)、育成施策の実行(Do)、自組織のリソース状況の把握(Check)、目標の再設定(Act)といった組織における人材育成の PDCA サイクルを回す活動の一助となることが期待される。H26、H27 年に「i CD ワークショップ」を長崎で開催し、会員 6 社(オフィスメーション㈱、㈱NDKCOM、不動技研工業㈱、㈱イシマル、NBC 情報システム㈱、扇精光ソリューションズ㈱)が参加した。その後の活動を通して i CD 活用企業認定では、企業での iCD の活用レベルや成果の大きさに応じた認証レベルの Silver Plus 3 社、Silver 3 社となった。NISA は、iCD 協会の賛助会員(団体認証)として登録。

尚、推進母体 IPA から新たに設立された「(一社)iCD 協会(iCDA)」が普及・ワークショップ活動を実施した。

(1)活動を推進する為の情報交換会

令和 5 年度は、新型コロナ対策の為、オンライン(ZOOM)で「iCD ユーザー会」等が開催された。
iCD 協会が取り組んでいる施策や活動方針などを紹介。

情報交換会	開催日時	開催場所
WEB　第 1(34)回 iCD ユーザー会	2023-5-18　15:30～17:30	オンライン開催
WEB　第 2(35)回 iCD ユーザー会	2023-8-24　15:30～17:30	オンライン開催
WEB　第 3(36)回 iCD ユーザー会	2023-10-18　15:30～17:30	オンライン開催
WEB　第 4(37)回 iCD ユーザー会	2024-1-23　15:30～17:30	オンライン開催
WEB　第 5(38)回 iCD ユーザー会	2024-3-21　15:30～17:30	オンライン開催

Ⅳ　人材高度化能力開発事業(「助成金受給支援事業」)

H16 年度からキャリア形成促進事業を始め、H23 年度から成長分野等人材育成支援事業(奨励金)、また H25 年度には日本再生人材育成支援事業(奨励金)を実施したが、成長分野・日本再生(奨励金)制度は H25 年度に終了した。H26 年度 から 28 年度は前制度を大きく改訂したキャリア形成促進事業を助成金受給支援事業として実施した。H29 年度からは、前制度が大幅改訂され「人材開発支援助成金」となった。H31 年度は改訂版を引続き適用し実施した。NISA 研修において、研修事業と助成金・奨励金を活用する助成金支援事業は車の両輪であり、令和 5年度研修の訓練計画書および支給申請書の提出を積極的に推奨し、書類提出の支援を行った。

※厚生労働省「人材開発支援助成金」制度の活用

IT分野は、技術の進歩が日進月歩であり、常に最新技術を修得することが、企業　の将来を左右すると言われ

ており、人材こそが IT 業界における重要な経営資源であると認識され、多くの企業がその育成に取組んでおられることに敬意を表するとともに、NISA 事務局は助成金申請の支援を継続して行っている。 厚生労働省の人材開発支援助成金は、令和 5 年度に制度が見直され、それまで「特定訓練コース 」と「一般訓練コース」であったものが「人への投資促進コース」「人材育成支援コース」「事業展開等リスキリング支援コース」の 3 本建てとなった。訓練時間の要件については 10 時間以上（旧 21 時間以上）に変更された。
また、生産性要件が廃止されて「賃金要件」と「資格等手当要件」が新設された。「賃金要件」と「資格等手当要件」のいずれかを満たした場合、別途申請を行うことで訓練経費プラス 15%等の加算分を追加して受給できる。

（1）人材開発支援助成金（厚生労働省）に係る計画届申請、支給申請のサポート

①計画届様式へ必須項目の記載

改訂に伴う申請様式等の変更があったため、NISA では訓練実施計画届様式に NISA 研修内容を記載してわかりやすくまとめ、作成時の注意点等を労働局に問合せ・確認を行って、申請時の手助けとなるよう会員に連絡した。

②訓練実施計画届書のチェック支援（R05-4～）

ⅰ）人材開発支援助成金に関して、訓練計画届は研修・訓練開始の 1 カ月前までに提出する必要がある。
また訓練計画内容の変更（人数・受講者等）は訓練開始の前日までに「変更届」 の提出が必要である。

ⅱ）長崎労働局へ提出するが、「訓練計画実施届」であり認定ではない。

ⅲ）保管必須書類として「事業内職業能力開発計画書」の作成要領書を作成し通知した。

ⅳ）研修実施場所は、当初 NISA 研修室とし、受講者数・インターネット接続環境等研修内容により決定した。

ⅴ）「訓練実施計画届」「変更届」等共同チェックの支援を実施した。

③支給申請書のチェック支援等の事務費として、支給決定額の 10% （認定実習併用職業訓練は 1%）を納入する。

ⅰ）支給申請は「各訓練終了日の翌日から2か月以内」に申請書の提出が必須。

ⅱ）共同チェックについては、年間を通して「各研修の終了から 2 カ月以内」に実施した。 支給申請時の共同チェックは、研修が終了次第順次実施した。

（2）留意点のメールによる配信と対面・電話相談等

Ⅴ 情報収集提供事業（「情報提供事業」）

政府をはじめ地方公共団体では、地域情報化に向けて、広く産業界および一般利用者への情報サービスの向上や業務システムの最適・最新化を図るため、情報通信技術（ICT）化を推進する。更に産業構造変革による生産性向上を行うには、IoTの取込みが欠かせない。
これらの実現のためには、ICT 化、および AI・IoTに関わる政府をはじめ地方公共団体、および産学の取組の情報をいち早く収集して広く周知し、これを基に認識を深めまた知見を深めていくことが重要である。
その収集・周知の一環として、地域や国内外の情報サービス産業に関わる情報を HP・メールにより広く提供し、会員企業、更に会員外企業の繁栄を目指して活動する。更には、自治体、各種団体等と連携・協力しながら、地域の ICT 化の取組みや施策の提案等を行う。
（NISA のホームページを地域における ICT 関連ポータルサイト化とすべく推進）

（1）情報提供項目：2023 年度掲載分 （2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）合計 695 件

1） 会員専用情報（会員・役員）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41 件
2） 加入団体（ANIA・JISA）情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・165 件
3） 政府（総務省、経産省、厚労省）情報・・・・・・・・・・・・・・・・・259 件
4） 自治体（長崎県、長崎市、他）情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54 件
5） 関連団体（中央会・工業会・他）情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23 件
6） 研修、講座、セミナー情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・72 件
7）その他情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81 件

情報源として、一般社団法人情報サービス産業協会（JISA）、一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、総務省九州総合通信局、経済産業省九州経済産業局、厚生労働省、長崎県、長崎市、公益財団法人長崎県産業振興財団、長崎県工業技術センター、佐世保情報産業プラザ、長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、佐世保工業高等専門学校、等からの情報を NISA ホームページ「お知らせ欄」に掲示すると共に重要な情報は会員宛てにメール配信し周知を図った。（詳細は NISA ホームページ参照）

Ⅵ 講演 ・セミナー事業

ICT 化に関わる政府をはじめ地方自治体、産学及び団体が取組んでいる施策に関する情報を、産学官で共有し、その情報化に関する啓蒙普及の一環として、産学官の専門家を招聘し講演会・セミナーを開催した。

(1)事業

①開催回数: 2～4 回/年
②案内方法 : 県、市、大学、各種団体等、会員にチラシ配付、メール配信、および当法人の HP に掲載
③対 象 : 会員および非会員(行政職員、大学職員、および各種団体職員)
④参加人数 : 40～80 名(WEB 参加を含む)

(2)実施内容(抜粋)

①総会特別講演会・・・・・R05-6-29(木) 16:30～17:30 H セントヒル長崎 2 階 「妙見」
ⅰ)演題 : DX 推進とクラウド活用による成功のカギ
ⅱ)講師 :クラスメソッド株式会社 シニアスペシャリスト 朝日 清氏
ⅲ)概要 : デジタル化が急激に進んでいる昨今、ビジネスイノベーションへの対応が求められています。働き方改革による新たなコミュケーションのあり方から必要とされる資格、技術などあらゆる点で対応の是非が企業の成長と生き残りに大きなインパクトとなります。
地方においては情報の過疎、若手人材の確保などの課題もあり、多くの方々がご苦労されています。クラスメソッドがなぜ AWSNo.1 のパートナー企業に躍進できたのか？ 事例を交え、課題に対するヒントと地方から全国へ元気な長崎を作るビジネスモデルのご提案をさせて頂きます。
ⅳ)聴講者 : 105 名(会場参加 83 名、オンライン参加 22 名)

②デジタルの日記念講演会・・・・R05-10-2(月) 15:00～17:10 Hセントヒル長崎 2 階「妙見」
福岡県情報サービス産業協会と共催して、長崎で開催した。
ⅰ)演題:・演 題:「国の DX 推進施策について～ﾃﾞｼﾞﾀﾙ推進による豊かな未来に向けて～」
講師:経済産業省 九州経済産業局 情報政策課デジタル経済室 室長 春口 浩子氏
ⅱ)演題:「未来を創造する DX～DX 推進を阻む障害をどうやって乗り越えたか～」
講師:株式会社フジワラテクノアート 代表取締役副社長 藤原 加奈氏

③30周年記念特別講演会 R06-1-23(火) 15:10～17:30 Hセントヒル長崎 3 階 「紫陽花」
聴講者 :69 名(会場参加 60 名、オンライン参加 9 名)

【講演1】
ⅰ)演題 :「五島列島から世界に誇るクラフトジンを！」
ⅱ)講師 :五島つばき蒸溜所 代表取締役 門田 邦彦様
ⅲ)概要 :長崎港から西に約 100km の位置にある五島列島の福江島で生 産する クラフトジン「GOTOGIN」を日本中に味わってもらいたい、そし てやがては、ジンの市場規模が 1 兆 2000 億円と言われるヨーロッパ市 場へ参入し、特に本場イギリスへ進出したい。キリンビールを退社した 3 名で 2022 年(令和 4 年)12 月に開業した五島つばき蒸溜所で生産 する、慈(いつくし)の島、五島のロマンが詰まった世界に誇るクラフトジ ン「GOTOGIN」についてご紹介。

【講演2】
ⅰ)演題 :「生体認証(顔認証)技術の進化と今後の挑戦」
ⅱ)講師 :日本電気㈱ NEC フェロー 今岡 仁様
ⅲ)概要 :2009 年より顔認証技術に関する米国国立標準技術研究所主催 のベンチマークテストで、世界一の評価を獲得。AI と生体認証(顔認証)技術の研究開発の歩みと今後の取り組み についてご紹介。「何も持たずに個人を認証する社会の実現」を目 指す一方で、プライバシー保護などを踏まえたエシックス(倫理)との両 輪で技術開発する必要がある」ことなどを解説

④中小企業のためのｻｲﾊﾞｰｾｷｭﾘﾃｨ･ｾﾐﾅｰ　R05-7-24（月）15:00～17:00　H ｾﾝﾄﾋﾙ長崎 2階（Web 開催）

ⅰ）演題 1:「DX 推進による企業の成長に向けて必要なサイバーセキュリティとは」

講師　:独立行政法人情報処理推進機構(IPA)セキュリティセンター

セキュリティ普及啓発・振興部 シニアエキスパート　横山　尚人氏

ⅱ）演題 2:「長崎県のサイバー犯罪の情勢について」

講師　:長崎県警察本部　生活安全部ｻｲﾊﾞｰ犯罪対策課ｻｲﾊﾞｰｾｷｭﾘﾃｲ対策課長補佐　岩下大吾氏

ⅲ）参加者:61 名（会場参加 21 名、オンライン参加 40 名）

Ⅶ 令和 5 年度 長崎県 DX 推進事業とDX推進活動

（1）令和 5 年度は、ながさき地域政策研究所（シンク長崎）が代表機関として、「長崎DX推進プロジェクト」のコンソーシアムを設立し、DX支援及びサイバーセキュリティ強化に取り組む中小企業（汎用機械器具製造業、食料品製造業）の中から採択された支援先(9 社)に対して、会員企業が伴走支援を実施した。
（支援企業:十八親和銀行、㈱リコージャパン、㈱LAplust）

Ⅷ 理事会（役員会）「主な項目を下記に記す」（敬称略）

（1）第 1 回　理事会(役員会) 2023-4-27(木) 15:30～17:00　　出島交流会館9F交流室（WEB 併用）

・出席理事・監事:理事 14 名（会場 2 名，Web_12 名）、監事 2 名（会場 1 名，Web_1 名）

【長崎県】産業労働部新産業創造課より 2 名出席(会場 2 名)され、
「令和 4 年度の長崎県の事業説明」を戴いた。

【議事】

1) 2023 年度度通常総会の講演テーマの検討

2) 2023 年度通常総会「わが社の一押し」講演、発表企業の検討

3) 2024 年「新春講演会 ・ 講演会 ・ 産学官交流会」の開催日程の変更について

4) NISA 創立 30 周年記念事業について（前回より継続）

（2）第2回　理事会(役員会) 2023-5-25(木) 15:30～1700　　NISA 研修室（WEB 併用）

・出席理事・監事:理事 16 名（会場 3 名，Web_13 名）、監事 1 名（Web_1 名）

【議事】

1) 2023 年度_通常総会の講演テーマ・講師（発表者)について承認

2)2023 年度 通常総会「わが社の一押し」講演の講師と演題を承認

3) 2023 年度_通常総会の進行と体制について承認

4) NISA 創立 30 周年記念事業について（前回より継続）

5)2022 年度決算報告を承認

6) NISA 委員会「令和 3 年度活動報告」と「令和 4 年度事業方針と計画」を承認

7) 令和 4 年度 NISA 役員（理事・監事・顧問）改選の公募について（任期満了に伴う役員改選）

8) 令和4年度 11 月度「NISA 第 8 回理事会」の開催日程変更について

（3）第3回　理事会(役員会) 2023-6-29(木) 13:10～13:30　　ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

・出席理事・監事:理事 17 名（会場 16 名，Web_1 名）、監事 2 名（会場 2 名）（WEB 併用）

【議事】

1)「7th長崎 QDG」に係る後援名義使用の承認

2) 総会の進行と体制について 【確認】

（4）第4回 理事会(役員会) 2023-7-20(木) 16:00～17:00　　アルカス SASEBO 3F 中会議室

・出席理事・監事:理事 16 名（会場 9 名，Web_7 名）、監事 2 名（Web_2 名）（WEB 併用）

【長崎県】**男女参画室**より 1 名参加、令和 5 年度事業『 IT 業界のお仕事セミナー』への協力依頼があった。

【議事】

1)「デジタルの日」記念講演【10 月 2 日(月)開催予定】の演題（テーマ）、講師について承認

(5) 第5回 理事会(役員会) 2023-8-24(木) 16:00～17:00 NISA 研修室(WEB 併用)
・出席理事・監事:理事 14 名(会場 3 名, Web_11 名)、監事 2 名(Web_2 名)
【議事】
1) 創立 30 周年記念講演(2024 年 1 月 23 日(火)開催予定)の開催方法について開催要領、記念式典(時間)、式次第について承認

(6) 第6回 理事会(役員会) 2023-9-21(木) 16:00～17:00 NISA 研修室(WEB 併用)
・出席理事・監事:理事 16 名(会場 2 名, Web_14 名)、監事 1 名(Web_1 名)
【議事】
1) 創立 30 周年記念講演は「NISA 設立 30 周年記念事業 特別委員会」が取り纏めることを承認

(7) 第7回 理事会(役員会) 2023-10-26(木) 16:00～17:00 NISA 研修室(WEB 併用)
・出席理事・監事:理事 17 名(会場 3 名, Web_14 名)、監事 2 名(Web_2 名)
【議事】
1)30 周年記念式典における「協会表彰者」を承認

(8) 第8回 理事会(役員会) 2023-11-22(木) 16:00～17:00 NISA 研修室(WEB 併用)
・出席理事・監事:理事 15 名(会場_2 名, Web_13 名)、監事 2 名(Web_2 名)
【議題】
1)「iCD カンファレンス 2023 冬」に係る後援名義使用を承認。

(9) 第 9 回 理事会(役員会) 2023-12-21(木) 15:00～17:00 出島交流会館 9F(WEB 併用)
・出席理事・監事:理事 16 名(会場 5 名, Web_11 名)、監事 2 名(会場 1 名, Web 1 名)
【議事】
1)30 周年記念式典の式進行要領を承認
※理事会終了後、長崎県工業技術センター様との意見交換会を実施した

(10) 第 10 理事会(役員会) 2024-1-23(火) 13:30～14:00 ホテル セントヒル長崎 2F「妙見」
・出席理事・監事:理事 16 名(会場 15 名, Web_1 名)、監事 2 名(会場 1 名, Web 1 名)(WEB 併用)
【議事】
1)2024 年度 NISA 研修の開催講座(25 講座)の詳細について承認
2)30 周年記念式典、記念講演、記念祝賀会の式進行要領を承認

(11) 第 11 回 理事会(役員会) 2024-2-22(木) 16:00～17:00 NISA 研修室(WEB 併用)
・出席理事・監事:理事 13 名(会場 2 名, Web_11 名)、監事 1 名(Web_1 名)
【議事】
1)2024 年度 役員会(理事会)開催予定日について承認
2) 2024 年度 NISA 研修の開催講座(23 講座)の詳細について承認
3)長崎県立高等学校工業科(工業高校)との情報教育に関する協定書の締結について承認

(12) 第 12 回 役員会 2024-3-28(木) 16:00～17:00 NISA 研修室(WEB 併用)
・出席理事・監事:理事 17 名(会場 3 名, Web_14 名)、監事 2 名(Web_2 名)
【議事】
1)2023 年度より入会金免除キャンペーンの廃止を承認
2)NISA 研修の開講基準を 6 名以上参加とすることを承認
3)事務局体制(小川T:直接雇用, 下釜T:週 4 日勤務)を承認
4)NISA-IT 技術研修の受講費用の受講費用を改定(平均 20%値上げ)を承認
5) 長崎県高校教育課からの「令和 6 年度 NEXT 長崎人材育成事業」協力依頼を承認